

任堂卓雄 （たけのり） 政治家、實業家。明治十年九月（二十一日）石川縣生れ、
昭和二十一年四月七日歿（二七七一—一九五六）。號石潭。明治二十四年東京
帝國大學工科大学造兵學科卒。工學博士。吳海軍工廠長、海軍造兵中
將、昭和製鋼所社長、滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）理事等歴任。昭和
十（二）年商工相兼鐵道相、貴族院議員、十四年農相。この前東京商工會
議所會頭、日本能率協會會長等を務む。

著書 『東の日本・西の獨逸』（昭和十二年十月）二十五年金澤堂）、『伸
びゆく獨逸—ナチス經濟の實相を視る』（昭和十二年十月）二十八日台
本社論社）、『日獨文化講演集・第十二集』（合著、昭和十四年十月
十五日日獨文化協會）、『時高の白眼』（合著・都新聞社編、昭和十四
年十一月一日秋豐園出版部）等。